

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2023年 5月 29日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者	
住 所 岩手県二戸市石切所字火行塚25	
氏 名 ㈱十文字チキンカンパニー	
代表取締役 十文字 保雄	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0195-23-3377	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	五枚橋第1-2ファーム
事業場の所在地	岩手県九戸郡九戸村大字長興寺
計画期間	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01: 農業 (畜産業 ブロイラー飼養)
② 事業の規模	年間生鳥出荷羽数 約 336,000羽
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・鶏糞→自社処理(醗酵処理)→醗酵鶏糞(普通肥料・特殊肥料として販売) ・鶏糞→自社バイオマス発電所にて燃料として使用→鶏糞燃焼灰(販売) ・鶏糞→自社醗酵工場にて燃料化(醗酵・水分調整)→バイオマス発電所にて燃料として使用→鶏糞燃焼灰(販売)

(日本工業規格

△列4番)



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物担当者



産業廃棄物処理責任者



産業廃棄物担当者

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	排 出 量	1,042 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 飼育管理による水分率の低減、及びおが屑使用量削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	排 出 量	1,011 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 飼育管理による水分率の低減、及びおが屑使用量削減の継続。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	1,042 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)  ・ 自社バイオマス発電所にて燃料として使用。(鶏糞燃焼灰は配合肥料原料及び肥料として販売)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	991 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	20 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 醗酵処理し堆肥化。(製品化) ・ 自社バイオマス発電所にて燃料として使用。(鶏糞燃焼灰は配合肥料原料及び肥料として販売)		

【別紙】今年度の計画（2023年度）

（産業廃棄物の種類：家畜のふん尿）

五枚橋第1-2ファーム

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

